

事業必要性①: 災害時、平時の安全・安心の確保

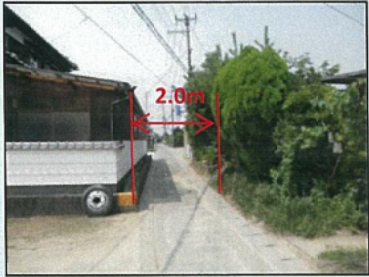
(1) 防災機能の向上

〔現状・課題〕
地区内の住宅に面した道路の多くは、幅員4m未満で、緊急車両の通行が困難な状況。

4m以上の道路に接している宅地
施行前 7.25ha/39.39ha (16%)



幅員狭小の状況



緊急車両の通路としての道路整備



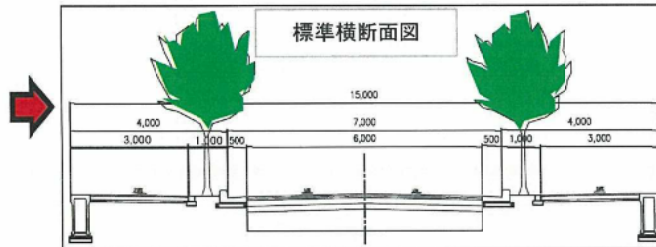
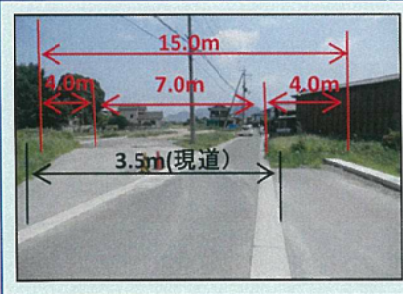
防災公園完成イメージ



〔整備方針〕
地区周辺の災害に備え、非常時の一時避難場所としての**防災公園**(2ha)を整備。

(都)野中浜市線の現道は、幅員狭小(W=約3.5m)で自動車の対面通行が困難な状況。

災害時の避難路としての道路整備 (都)野中浜市線



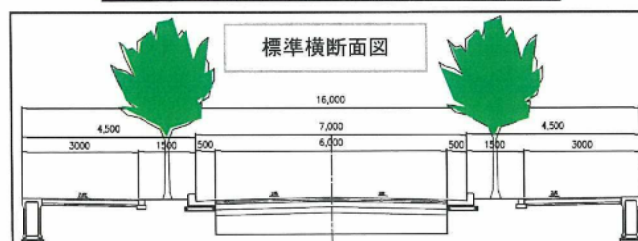
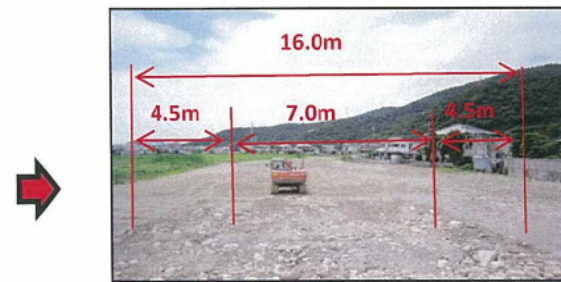
整備状況



(都)塩屋野中線の現道は、幅員狭小(W=約4.0m)で自動車の対面通行が困難な状況にあり、また、JRとの平面交差点において混雑している。

災害時の避難路としての道路整備 (都)塩屋野中線

対面通行が困難な状況



JRアンダーパス 完成イメージ



(2) 通学路の安全確保

(都)野中浜市線等は、赤穂小学校、坂越小学校等の通学路に指定されているが、地区内には歩道がなく歩行者にとって交通安全上、危険な状況。



通学状況(赤穂小学校児童)



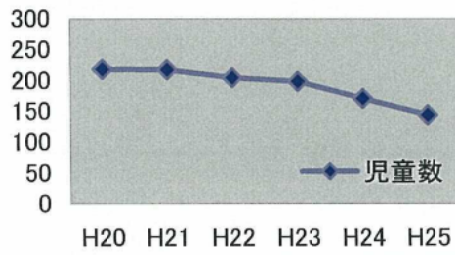
通学状況(坂越小学校児童)



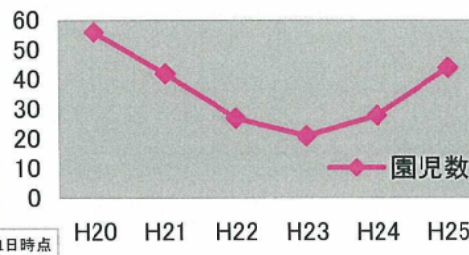
新たに造成した宅地
自転車歩行者道の新設



坂越小学校 児童数の推移



坂越幼稚園 園児数の推移



小学校の児童数は減少傾向にあるが、幼稚園の園児数は直近2年で約210%増加している。将来の児童数の増加により、地区内の通学路の安全確保が必要である。

(3) 雨水対策

排水路及び下水道整備による
雨水排水機能の強化



雨水渠設置工事(ボックスカルバート布設状況)

